
榎尾川上流部の治水対策に関する地元説明会

平成24年5月10日

大阪府

■河川改修計画案の基本的な考え方

1. 前提条件

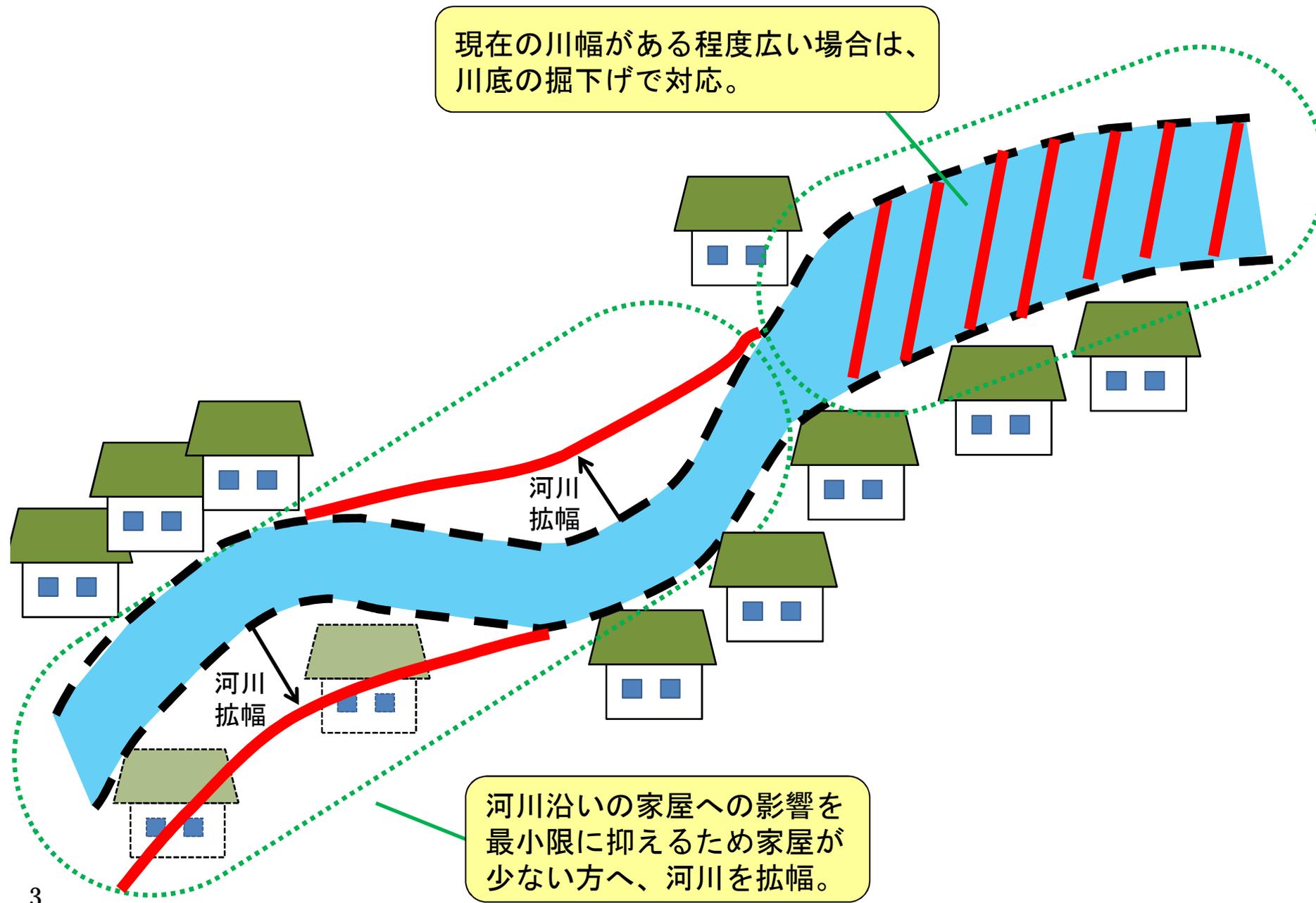
- 河川沿いの家屋への影響を最小限に抑える。
- 現在の川の流れにできるだけ沿ったルートとする。
⇒現在の河川利用をできるだけ考慮、洪水の流速を上げない。
- 現在の川底の傾斜（河床勾配）をできるだけ変えない。
⇒洪水の流速を上げない。

■河川改修計画案の基本的な考え方

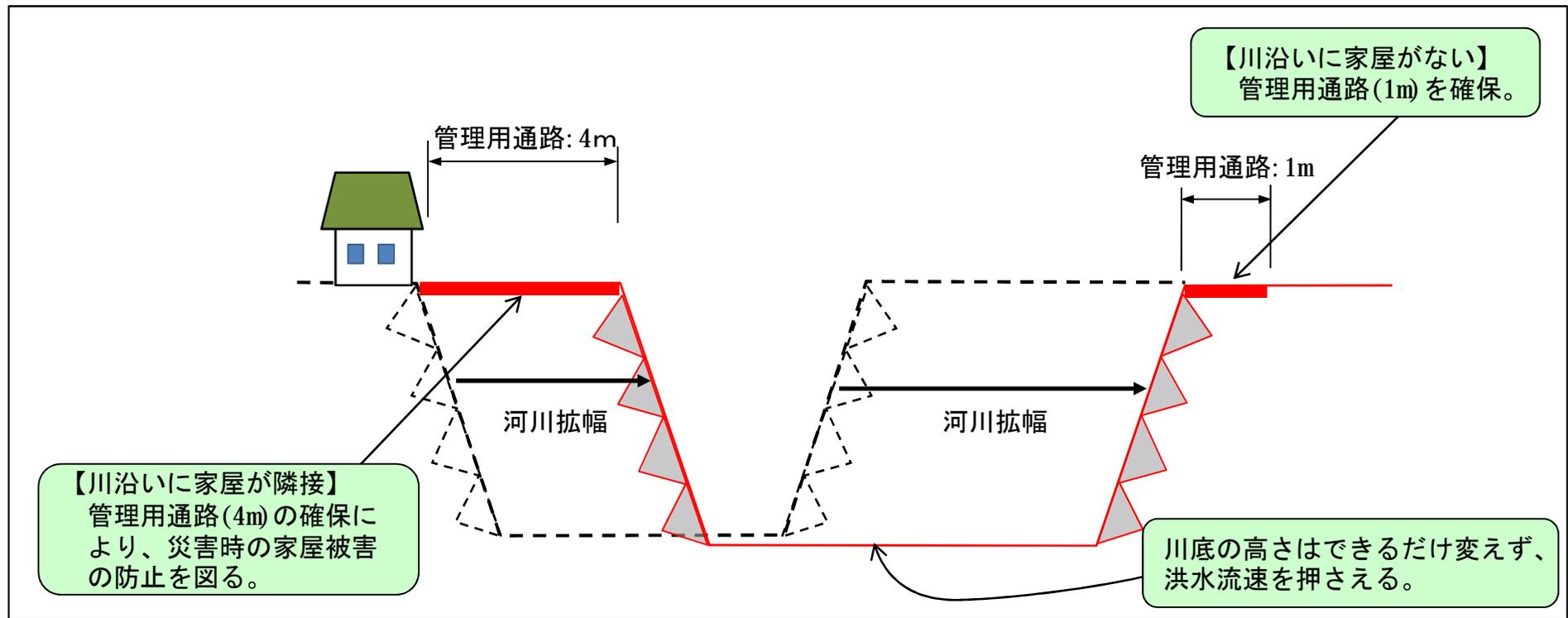
2. 河川改修の方法

- 現在の川幅が狭い場合は、川幅を広げる（河川拡幅）。
- 現在の川幅がある程度広い場合は、川底を掘下げる（河床掘削）。
- 河川沿いに家屋が隣接する区間は4 m、家屋がない区間は1 mの管理用通路を設置する。
⇒災害時の家屋被害を防止。

■河川改修計画イメージ



河川改修の方法イメージ（河川拡幅）



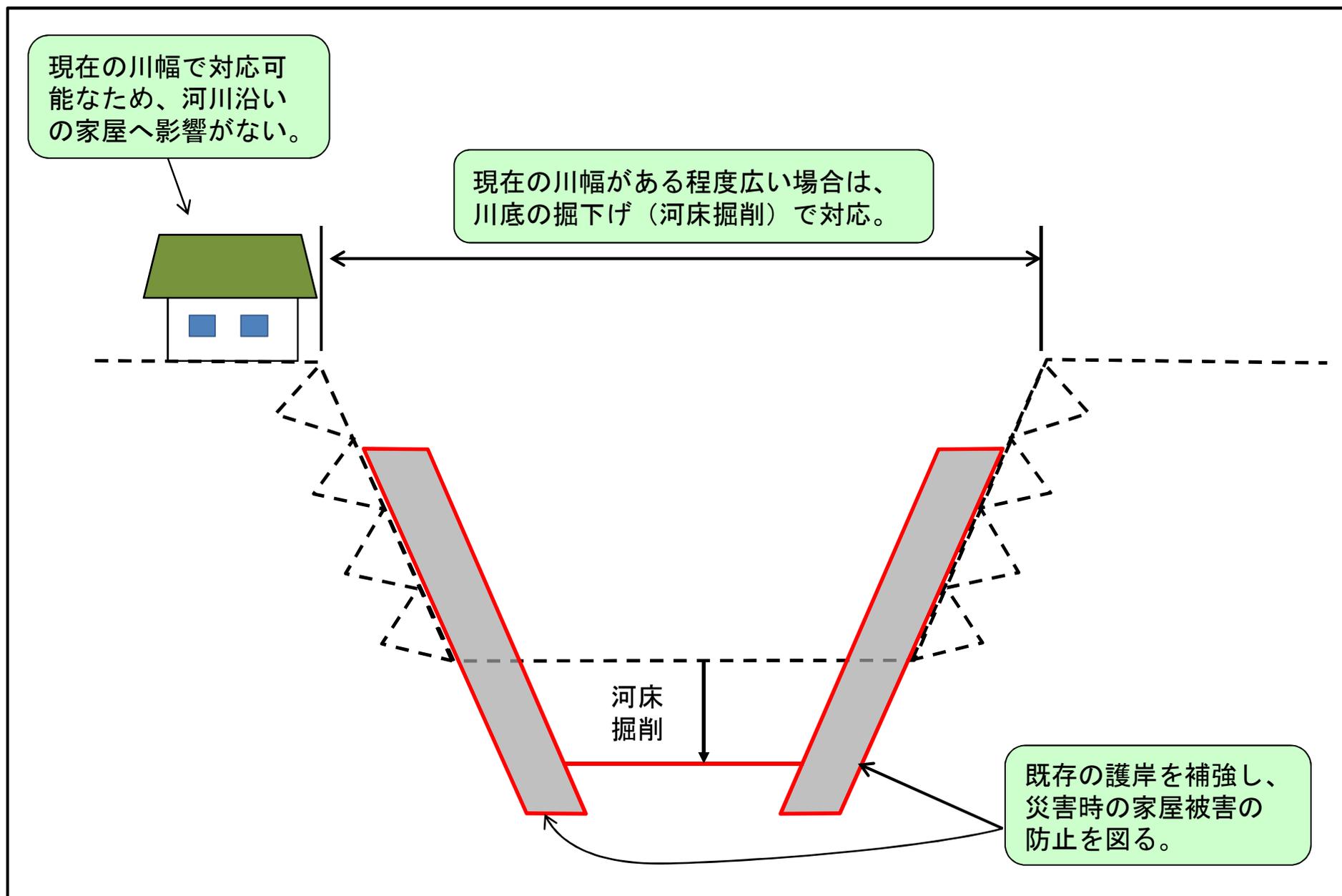
◆管理用通路が無い場合（家屋被害の発生事例）



◆管理用通路がある場合（家屋被害の防止事例）



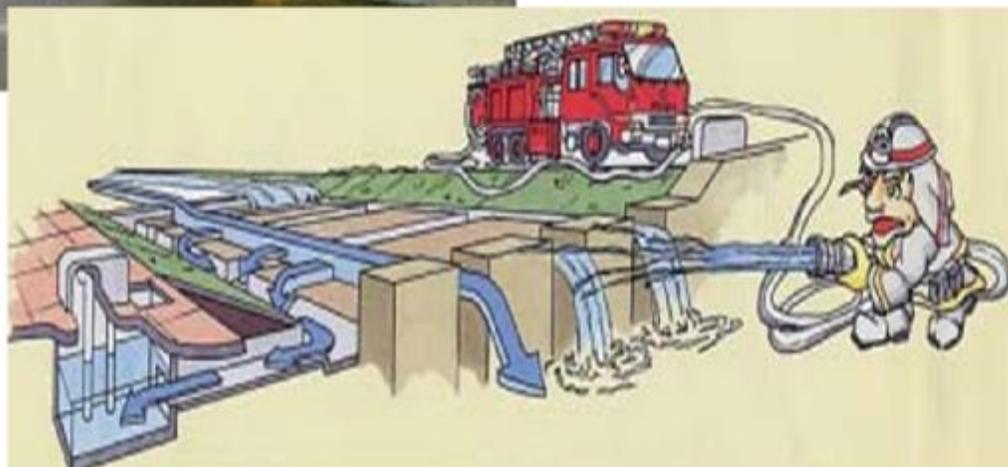
■ 河川改修の方法イメージ（河床掘削）



■旧河川用地の有効活用イメージ

○旧河川用地を有効活用した、消火用水の確保等について検討。

◆河川水の消火用水への利用（天野川）



■河川改修の今後のスケジュール（予定）

	H24	H25	H26	H27	H28
○中心線測量 ○横断測量	■				
○詳細設計	■	■	■	■	
○境界測量	■	■			
○丈量図作成		■	■		
○用地買収		■	■	■	
○工事			■	■	■

■ 流木対策イメージ

◆ 流出の恐れがある樹木の伐採状況（H23. 月）

◆ 対策イメージ

